

ブロック1 (2期)

課題 No.8

スフィンクスの謎:



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

解剖学教室

川島友和・本多祥子・佐々木 宏

整形外科学

金 強中

シート1

“一つの声をもち、四足、二足、三足になるものは何か？”

【期待する事柄】

課題名から、この言葉がギリシャ神話の中の『オイディップス神話』に登場するスフィンクスがかけた謎であることに学生はすぐに気づくであろう。そして学生は直ちに『人間』と答えるだろう。ひょっとしたら、これから先学生は人の一生あるいはヒトの個体発生へ向かってしまうかもしれない。しかしながらあくまでも、〈課題の目的〉はヒトの成体における体の基本構造の理解にあるので、個体発生に直ちに入ってしまうのは避けたい。その場合には速やかに資料 No.1～3、引き続いてシート2を配布してもらおう。(⇒【テュートリアル
の進め方】を参照)

【抽出されると思われる項目】

- ・人の一生あるいは人の個体発生
- ・四足から二足へ移行する人の成長あるいは乳児の歩行発達
- ・三足から類推してヒトの老化、高齢社会
- ・人の進化

【期待する事柄】

学生自ら、写真をじっくり見て、ヒトと四足動物をよく見くらべてもらおう。
自由に述べあう時間をもうける。

シート2

ある写真を眺めていた医学部1年生のAさんとBさんの会話：

A 人と四つ足の動物とはずいぶん体形が違っているのね。

B どこが一番違っているのかしら？

A 体の中はどうか？

B 四つ足の動物では、臓器が腹側にぶら下がっているのね。他にも、いろいろ違いがありそう……

進行を見て、資料 No. 4 を配布する。(⇒【テュートリアルを進め方】を参照)

【期待する事柄】

【抽出されると思われる項目】

- ・日常よく見かける動物の体形と比べてヒトの体形はどうなっているのだろうか？→学生は、資料 No.1~No.3 およびシート2から、ヒトが直立二足歩行する動物であるという点に気付いてほしい。
- ・つぎに学生に直立二足歩行形態からヒトの体にはどのような特徴があるのかを考えてもらいたい。この場合にどのような道筋にたって考えていけばよいのかを学生に充分考えてもらってほしい。
- ・さらに一層の関心を示す学生は、構造の違いから機能の違いへと考察が広がるだろう。たとえば、歩行・走行などの運動、摂食・飲水、出産の違いなどに目を向けるようになるかもしれない。こうなれば、骨格系・筋系の運動器系以外の器官系に関心を向けてくれるようになるだろう。

シート3

B 私たちも赤ちゃんの時は四つ足でハイハイしていたのよね。

A でも、犬や馬みたいな動物の四つ足とは違うんじゃないの？